

金沢学院大学大学院

2025 (令和 7) 年度 入学者選抜試験問題 (Ⅱ期)

2025 年 2 月 22 日 (土) 実施

経営情報学研究科経営情報学専攻
博士前期課程

小論文

注意事項

1. 問題冊子は、試験開始の合図があるまで開いてはいけません。
2. 解答は、解答用紙（提出用）に書きなさい。
3. 問題冊子・解答用紙（提出用）・下書き用紙に受験番号・氏名を記入しなさい。
4. 解答用紙には、選択した問題番号を記入しなさい。
5. 試験終了後、問題冊子・解答用紙（提出用）・下書き用紙を回収します。

受験番号	
氏 名	

次の問題 1～4の中から、1つ選んで答えなさい。

問題 1

日本の財貨・サービスの純輸出（＝輸出－輸入）の動向をみると、好調なインバウンド需要にもかかわらず 2019 年から赤字基調になっている（2024 年は約 6 兆円の赤字）。この要因として輸出産業の国際競争力低下、デジタル赤字の拡大、鉱物性燃料の輸入依存、産業空洞化等の日本経済の課題が指摘されているが、これらの課題を克服するための対応策について論じなさい。

問題 2

ヘンリー・チェスブロウ（Henry Chesbrough）が提唱したオープン・イノベーションの概念を説明し、従来のクローズド・イノベーションとの違いを述べなさい。その際に、近年になってオープン・イノベーションが実務でも注目されている理由についても説明しなさい。

問題 3

わが国の討議資料「財務会計の概念フレームワーク」においては、①どのような利益の重要性が示されているかを述べた上で、②それと対比され、重要とされている利益について述べ、かつ③それぞれの利益の定義について述べ、④さらに②の利益の有用性について主張の根拠を説明しなさい。

問題 4

大規模言語モデル（Large Language Model）を業務へ導入する場合の効果と注意すべき課題について、一つの業務をとりあげて、可能な限り具体的に論じなさい。冒頭にどのような業種・職種におけるどのような業務を取り上げたかを明記すること。

